

【JPCSAからのお知らせ】

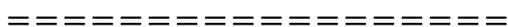
- ◆ふくい農泊推進会議レポート
- ◆農業遺産シンポジウムレポート
- ◆地域のお悩み解決に専門家の知見を借りてみませんか？

【農水省より】

- ◆ディスカバー農山漁村(むら)の宝  
アワード選定地域発表

【観光庁より】

- ◆ベストツーリズムビレッジ認定の  
2地域発表



会員各位

一般社団法人日本ファームステイ  
協会です。

いつも当協会の活動にご理解頂き、  
誠にありがとうございます。

今回も、農泊に関する最新情報をご案内致します。

【JPCSA関連情報】



(レポート)ふくい農泊推進大会2024  
11/28、29福井県越前市で開催！



11月28日(木)、29日(金)に、幸福度  
日本一、教育力日本一のふくいで、「生  
きる力」や「暮らしの知恵と技」「人との  
つながり」の魅力を伝える教育旅行と、  
インバウンドの受入を、農泊を核として  
さらに進めるために、全国の先駆者や  
地元での仲間に学び、積極的に取り組  
む仲間を増やし、質の向上を目指すこ  
とを目的として、「ふくい農泊推進大会  
2024」が越前市にある「あいパーク今立」  
で開催されました。

当日は、県内外の農泊実践者をはじめ、  
農林水産省、自治体関係者、観光事業  
者など80名を超える参加者となり、本  
協会品質評価支援研究所青木所長が  
コーディネーターとなり、上山代表理事

がパネリストとして参加した、「～教育旅行の新展開～インバウンド対応をはじめとする多様な実践展開を目指してパネルディスカッション」をテーマとしたパネルディスカッションをはじめ、農家民宿での宿泊体験や郷土料理体験などが行われ、農泊実践者の全国的なネットワーク化を体現することができました。





◆◆.....  
(レポート)農業遺産シンポジウム開催、  
今後の大きな展開に期待  
◆◆.....

本メルマガでもご案内させていただきました  
標記シンポジウムが11/19（火）に東京都  
世田谷区「二子玉川ライズ」にて開催され  
ました。

昨今、農山漁村・農林漁業のみならず社会的な  
取組みとしての第一義である「持続可能性」  
について、農業遺産は多面的な要素が盛り込  
まれており、注目を集めております。

シンポジウムは農林水産省による基調講演の  
後、にし阿波（徳島県）、紀北町（和歌山）  
、阿蘇地域（熊本県）の取組実践者による  
事例紹介が行われました。いずれの地域も  
農業遺産を観光資源につなぐ様々な試みが  
行われており（一部農泊地域にもなってい  
ますが）、改めて農泊地域における農業  
遺産という資源価値の大きさを知ることが  
できました。

後半はプロモーションの最前線を走るパネ

リストによるディスカッション。

「行ってよし、見てよし、味わってよし」  
がオンライン／オフラインでご覧の皆様  
に十分伝わったことは、時間ギリギリまで続  
いたシンポジウムやイベント後に様々な場  
所で意見・情報交換がなされていたことに  
表われていました。

皆様もお近くの農業遺産を改めて持続可能  
性の高い観光資源という視点で見直してみ  
てはいかがでしょうか。

農業遺産の詳細についてはこちら

(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/index.html> )

をご覧ください。

◇◆・・・・・・・・・・・・・・・・

地域のお悩み解決に専門家の  
知見をお借りしませんか？（再掲）

◇◆・・・・・・・・・・・・・・・・

先月号でもご案内しましたが、令和6  
年度も後半に入り、農泊地域の皆様、  
関係する皆様も取組・活動を行う中で  
様々な課題が出てきているところかと  
思います。

そこで地域の方だけでは解決できない  
お悩みごとを専門家の方の力を借りて  
みてはいかがでしょうか？

日本ファームステイ協会では、農泊に  
係る様々な分野の専門家をラインナッ  
プしており、派遣事業を行っております  
（交付金、補助金での活用もOKです）  
方式は対面、オンライン両方対応可能  
です。

「課題がそもそも明確化されていない」

「費用はどのくらいかかるのか」

「どのような形で来ていただくのがい  
いのか」

等々のご相談からお寄せいただいても  
構いませんので、お気軽に以下より  
お問合せ・お申込みください。

よろしく申し上げます。

★派遣や研修コンテンツについては、

こちら (<https://jpcsa.org/senmonka/>)

をご参照ください。

【農林水産省より】

◆◆ . . . . .  
ディスカバー農山漁村(むら)の宝  
アワード選定地域発表  
◆◆ . . . . .

農林水産省及び内閣官房では「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』と称して全国へ発信することとしています。このたび今年度(第11回)の選定地域が公表されました。

農泊地域の協議会からは岐阜県八百津町「80%山やまのまちを元気げんきにする協議会」や奈良県宇陀市「宇陀市古民家活用地域活性化協議会」などが選定されました。

農山漁村の取組の象徴的な優良事例であり農泊の一つの成功モデルと言うべき取組みがラインナップされており、ぜひ選定地域や取組みをご覧ください。

選定地域はこちら (<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>)

※ディスカバー農山漁村の宝は農政局ごとでも選定しております。そちらでも農泊地域が選定されているところもございますので、ぜひ各農政局ウェブサイトにて「ディスカバー」で検索して情報をご覧ください。

【観光庁より】

◆◆ . . . . .  
「ベストツーリズムビレッジ2024」に  
日本から2地域選定  
◆◆ . . . . .

国連世界観光機関 (UNWTO) は、2024年11月、山形県西川町と鹿児島県天城町を「ベストツーリズムビレッジ」に認定しました。これにより日本の認定地域は8地域となりました。「ベストツーリズムビレッジ」は、持続可能な開発目標 (SDGs) に沿って、観光を通じた自然や文化遺産の保全などにより、持続可能な観光地域づくりに取り組む優良な地域を認定

するプロジェクトです。  
認定地域には、UNWTO指定のロゴマークの使用  
や、認定地域相互での知見や経験の共有などの  
メリットがあります。

これまで北海道ニセコ町や京都府南丹市、長野  
県白馬村など農泊地域からの選定もあり、農泊  
の国際認証としても注目を集めております。  
世界的に見ても大きなブランディングとなりま  
す。近年は観光庁が窓口になって選定地域への  
エントリーを行っておりますので、興味・関心  
ある地域の方は来年度のエントリーを目標に  
してはいかがでしょうか？

ベストツーリズムビレッジについてはこちら  
([https://www.ml.it.go.jp/kankocho/news07\\_00006.html](https://www.ml.it.go.jp/kankocho/news07_00006.html))

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとう  
ございました。ご購入いただいた皆様の  
事業展開のきっかけとなる様な情報発信  
を行って参りますので、今後もお愛読の  
ほど宜しくお願い申し上げます。

会員様が実施されます農泊関連イベント  
や研修について、本メールマガジン上で  
告知を承ります。掲載のご希望がござい  
ましたら、配信希望月の1カ月前までに  
下記のメールアドレスへご連絡をお願い  
致します。担当者よりご連絡をさせて  
いただきます。

=====

発行：  
一般社団法人日本ファームステイ協会事務局  
〒101-0021  
東京都千代田区外神田2-17-2  
(TEL：03-3526-2493 / FAX：03-3526-2494 )  
本会WEBサイトは[こちら](#)  
問い合わせ先E-mailは[こちら](#)

=====